

中国: H10N3 鳥インフル 浙江省で1人

衛生福利部 www.mohw.gov.tw 2022-10-04
 全球流感资讯网 www.flu.org.cn 2022-10-07 12:31
 香港特别行政区政府新闻 www.chp.gov.hk 2022-10-05

来源: 疾病管制署
 来源: 香港特别行政区政府新闻公报
 来源: 香港衛生防護中心

浙江省: 6月11日に33歳男性が発症した。

宮本注: FIC の発表は上の一行のみ。香港 CHP の PDF 発表もあり内容がなかったため、『H10N3』『浙江省』などのキーワードを組み合わせて検索していたところ、台湾衛生福利部の情報を見つけました。中国では、浙江省衛生当局もニュースメディアも全く触れていませんが、2021年6月に江蘇省で世界初のヒト感染症例が出たという発表を国家衛生健康委が発表したのに、今回は一言も触れず。台湾のレポートでは、WHO が8月30日に公開したことが記されています。これは中国当局が WHO にしか報告していなかったということを示しますが、6月に発症した患者について、8月まで中国が黙っていたということも示すと考えてよいのではないかと思います。ゼロコロナ対策の失敗を認めたくない中国としては、他の知られたくない感染症も認めたくないが、秘匿するわけにもゆかず、2か月遅れでの WHO への報告をしたのかと推量。『Better than Nothing』かもしれません: 苦笑

感染状況概要:

世界的な流行状況は減速するも、依然として深刻なものであり、各地で検査数の減少に伴い、報告症例数を過小評価している恐れがある。オミクロンの変異株 BA.5 型が世界の主流となっている。北半球が秋冬のシーズン入りするにつれ、置く最適な感染リスクも徐々に高まる恐れがあり、引き続き海外渡航推奨レベル『警戒レベル3 (アラート)』を維持する。

国内における新型コロナの流行は、社区の広範にわたり、現在は停滞期にあるが、新たな症例数報告数や検査陽性率はそれほど変わっていない。が、重症者数および死者数が上昇しており、重症化リスクの高いグループや慢性疾患歴を有する年長者にはワクチンの接種を呼びかけ、もし何らかの兆候が表れた場合には急ぎ医療機関を受診するようにされたい。9月29日以降、国境検疫および入国検疫措置が2段階で緩和されるが、人々は、自主隔離期間中は関連防疫ガイドラインに協力してほしい。

台湾でのインフルエンザ類疾患の救急外来者数は最近増大化しており、実験室で検査陽性となったのは A 型のインフルエンザだが、世界的傾向を参照すると、季節性インフルエンザは冬季に増加するが、COVID-19 とタイミングを同じくして流行することがあるので、人々にはインフルエンザワクチンを是非とも受けていただきたい。高雄市前鎮区でのクラスターに関連し、デング熱の新たな本土症例1例が増えており、室内外での(蚊の)繁殖を強化し(これは『繁殖させぬように強化』するということの誤記ですね)、疑似症状のある人は速やかに病院を受診してほしい。

中国大陸では、H10N3 新型の A 型インフルエンザの新規症例が1件発生し、ヒトへの感染例が出ることも予期されるが、ヒト〜ヒト感染のリスクは低い。

一、新型コロナウイルス肺炎(COVID-19)

(一) 世界の状況

1. 世界的に流行速度が減速しているが、9月26日時点で世界では、その流行は、201の国・地域にわたり、611,715,965人であり、6,542,668人が死亡(CFRは1.1%)している;直近7日間の新規症例数は多い順に日本、米国、韓国、ロシアおよび台湾となっている。
2. 欧州: 全体として趨勢を維持。流行は9月から再上昇したのち、1週間にわたりフラットな状況が続くが、ロシアはピークにあり、ドイツやフランス、英国などでは上昇している。欧州疾病欧州疾病予防管理センター(ECDC)によると、多くの国で新規感染者数や入院者数、重症者数が再上昇している一方で、死者数は下降の趨勢を維持; 総体的な流行状況は依然として低いレベルにあり、夏休み後の人の移動が感染者数増加の主要な理由となっているようだ。
3. 西太平洋: 全体的には穏やかな傾向にある。日本や韓国はピーク後に減速しているが依然として深刻な状況にあり、シンガポールでは緩やかに上昇、オーストラリアやフィリピンでは横ばい、香港やベトナム、マレーシア、ニュージーランドでは横ばい或いは減速している。中国大陸本土

では流行が続いており、一部の省や都市では市中感染のリスクが依然として高く；寧夏回族自治区では上昇、多地点に拡散している。遺伝子検査により **BA.5.2** および **BA.2.76** 二種類のウイルス株の存在が見て取れるが、感染源はいまだ不明であり、市中感染リスクが残る。

4. 南北アメリカ：全体的な傾向は横ばい。カリブ海諸国と中南米ではいずれも原則。米国の **BA.5** 変異株の比率は **83.1%**とやや低下し、最近では **BA.2.75** および **BF.7** 株の比率が増大している。
5. 東南アジア：全体的には減速傾向。インドやインドネシア、タイでは減速、バングラデシュやミャンマーではリバウンドするも依然として低水準にとどまっている。
6. 地中海東部：流行は横ばいだが、最近ではカタールとイランで新たな症例が発生。
7. アフリカ：流行は減速しており、新規症例はおもに南アとモーリシャスで発生。
8. 現在、世界的に渡航警戒レベルは3級レベルの警告「Warning」であり、国民は不要不急の渡航を避けるほうが良い。

（二）国内の状況

台湾では現在 **COVID-19** が社会全般に流行しているが、新規症例数および検査陽性率は横ばい。**2020** 年に入り **9 月 16 日** 時点で、累計 **17,673,340** 件の新型コロナウイルスに関連する通知が報告されているが、うち、本土症例 **6,290,257** 例、輸入症例 **34,267** 例の計 **6,324,578** 例が確定診断されおり、敦睦艦隊 **36** 例、航空機感染 **3** 例、不明 **1** 例および調査中 **14** 例となっており、更に確定症例のうち **10,912** 人が死亡している。

1. 輸入症例：新たに **3,150** 例が増えたが、症例数は変わらず。台湾籍が多数を占めており、オミクロン変異株が主に検出されている；**2022** 年から累計 **2,464** 株のオミクロンが検出されているが、うち **170** 株が **BA.2.12.1** 亜型であり、米国（**136** 株）からのひとが最も多い；**BA.4** 型 **91** 株（米国から **29** 例、英国 **9** から例、シンガポールおよびオランダから各 **6** 例と多くを占めているが、そのほかに **25** か国から **1～4** 例が輸入されている）、**BA.5** 型 **914** 株（米国の **163** 例、ベトナム **98** 例、ドイツ **59** 例と多く、残りは **54** か国からの **1～49** 例が占めている）、**BA.2.75** 株（インドが **15** 例と多く、その他 **6** か国で **1～4** 例）、**BA.2.75** 型 **1** 例（ブラジル）。
2. 本土病例：**567,013** 例が新たに増え、症例数が増加。居住地別患者数の上位3県・市は新北市、台中市、台北市となっているが、最近の新規症例数増加については横ばい傾向にあり、本土の中等・重症者の占める割合は **0.44%**である。**2022** 年7月以後、オミクロン **BA.5** 型の陽性率が上昇を続けており、徐々に主流となっている。
3. 敦睦艦隊『盤石』でのクラスター：乗組員 **36** 例。
(敦睦艦隊とは台湾海軍の敦睦遠航訓練支隊のこと。磐石艦とは『盤石』という軍艦名)
4. 航空機クラスター：搭乗員 **3** 例が機上で検査を受け発症していた感染例となった。
5. 不明：無症状感染者 **1** 例、出国前の自費検査で陽性となり、通報後に確定診断された。
6. 調査中：累計 **14** 例、全員同一航空会社の乗務員。

(図：省略)

二、インフルエンザ

（一）国内の状況

1. インフルエンザ様救急外来受診者が最近増加傾向にあるが、過去 **2** 年間の同時期より多くなっている。過去 **4** 週間では、呼吸器ウイルス陽性となった感染症が多くみられ（全て **A 型 H3N2**）、単純ヘルペスウイルスがこれに次ぐ。さらに、実験室自動報告システム（**LARS**）により報告されるインフルエンザウイルスの陽性件数が増加しているが、**A 型インフルエンザ** が主に検出されており、市中でインフルエンザウイルスの活動が増えていることが見て取れる；このインフルエンザシーズン（**2021 年 10 月** から開始）においては、インフルエンザによる重度の合併症例は確認されていない。
2. 南半球における本年のインフルエンザ流行は、近年より高水準にあり、流行初期にあるといえる。国内においては **2** 年間にわたりインフルエンザの流行が見られておらず、世界各地で **COVID-19** への制御措置が徐々に緩和されている中、冬季に季節性インフルエンザが **COVID-19** との同時流行も予期されるため、積極的にインフルエンザの予防接種を受けることを推奨する。

（二）海外の状況

(記述と図：省略)

(記述と図：省略)

(記述と図：省略)

1. **WHO** は、中国大陸が 8 月 30 日 に **H10N3** 型の症例 1 例を新たに報告してきたと発表。患者は、浙江省東陽市の屠殺業者で 33 歳男性だが、6 月 11 日に発症し、6 月 15 日に重症肺炎として入院したが、既に健康を回復している。（発症前に）自宅で家禽との接触力があつた。自宅および仕事場では関連ウイルスは検出されておらず、濃厚接触者への感染もない。
2. 同患者は、世界第 2 および中国第 2 例の H10N3 患者となるが、これまでにエジプトやオーストラリアでは **H10N7** が、中国大陸でも **H10N8** が報告されている。鳥類の **H10Nx** 型の流行とウイルスの比較が進行中だが、**WHO** は、**A(H10Nx)**にはヒトからヒトへの感染を維持できず、ヒトヒト感染の可能性は低いと評価している。各地の鳥類からウイルスが発見され続けているが、散発的なヒトへの感染例は今後も出るだろうと予期される。

= Taiwan and International Epidemic Focus Date: Week 37–38 of 2022 (2022/9/11–2022/9/24) =

Ministry of Health and Welfare	www.mohw.gov.tw	2022-10-04	Source: Disease Control
Department			
Global Flu Information Network	www.flu.org.cn	2022-10-07	12:31 Source: Hong Kong Special
Administrative Region Government Press Bulletin			
Hong Kong Special Administrative Region Government News	www.chp.gov.hk	2022-10-05	
Source: Hong Kong Center for Health Protection			

Miyamoto's note: The above is from FIC's report and followings are from Taiwan CDC's report on "Epidemic Focus". Since the latter includes more information compared to HK CHP and FIC, we suggest you have a look. Though Zhejiang province has not opened this information in the mainland China, and none says that this is the second human case in the world, we think this is the world's second case.

There is one new case of H10N3 new type A influenza in mainland China, and human cases are still expected, but the risk of human-to-human transmission is low.

1. Novel Coronavirus Pneumonia (COVID-19)

(1) International Epidemic

1. The epidemic has slowed down globally. As of Sept. 26, a total of 611,715,965 confirmed cases in the world, distributed in 201 countries/regions, of which 6,532,668 died (CFR: 1.1%); the average number of new cases in the past 7 days is followed by Japan, The United States, South Korea, Russia and Taiwan.
2. Europe: The overall trend is flat. After the epidemic rebounded since September, it has been flat for nearly a week, Russia is at its peak, and many countries such as Germany, France, and the United Kingdom have risen. The ECDC (European Center for Disease Control and Prevention) stated that the number of new cases, hospitalizations and severe cases in many countries has rebounded, and the number of deaths has maintained a downward trend; the overall epidemic situation is still at a low point, and the movement of people after the summer vacation may be the main reason for the increase in transmission.
3. Western Pacific: The overall trend is moderating. Japan and South Korea have slowed down after peaking, but are still severe, Singapore has risen slowly, Australia and the Philippines are flat, and Hong Kong, Vietnam, Malaysia, and New Zealand are flat or slowing down; The local epidemic in mainland China continues, and the risk of community transmission in some provinces and cities is still high; The epidemic situation in Ningxia is increasing, and it is scattered in multiple points. Gene sequencing shows that there are two virus strains, BA.5.2 and BA.2.76. The source of infection is still unknown, and there is a risk of community transmission.
4. Americas: The overall trend is flat. The United States and Canada were flat, while the Caribbean and Central and South America were all slowing down; The proportion of BA.5 mutants in the United States dropped slightly to 83.1%, and the proportion of BA.2.75 and BF.7 mutants has recently increased.
5. Southeast Asia: The overall trend is slowing down. India, Indonesia, Thailand slowed down, Bangladesh, Myanmar rebounded, still at relatively low levels.
6. Eastern Mediterranean: The epidemic is flat, with the most recent new cases in Qatar and Iran.
7. Africa: The epidemic has slowed down, and the new cases are mostly in South Africa and Mauritius.
8. The current global travel epidemic advice is the third-level warning (Warning). Chinese people should avoid all non-essential travel abroad.

(2) Domestic Epidemic

The country is currently experiencing a widespread community epidemic of COVID-19, and the number of new cases and the positive rate of testing are flat; From 2020 to September 26, 2022, a total of 17,673,340 new coronavirus-related notifications have been reported, among them, 6,324,578 were confirmed cases, including 6,290,257 local cases, 34,267 imported cases, 36 Dunmu Fleet cases, 3 aircraft infections, 1 case unknown and 14 cases under investigation; 10,912 of the confirmed cases died.

1. Imported cases from abroad: Cases imported from abroad: 3,150 new cases were added, the number of cases remained the same, and Taiwanese accounted for the majority, and Omicron variants were mainly detected; From 2022, a total of 2,464 strains of Omicron have been detected, of which 170 strains are of the BA.2.12.1 subtype, and the United States (136 strains) is the most tourist country; Further, the followings were detected: **91 strains of BA.4** (29 cases in the United States, 9 cases in the United Kingdom, 6 cases in Singapore and the Netherlands, and 1–4 cases in the other 25 countries), **914 strains of BA.5** (163 cases in the United States, 98 cases in Vietnam, 59 cases in Germany are more, the remaining 54 countries are between 1–49 cases), **27 strains of BA.2.75** (15 cases in India are more, the remaining 6 countries are between 1–4 cases), 1 case of **BA.2.12.1 /BA.5** (Brazil).
2. Local cases: 567,013 new cases have been added, and the number of cases has risen. The top 3 counties and cities where the cases live are New Taipei City, Taichung City and Taipei City. The number of new cases has shown a flat trend recently, and the proportion of local moderate and severe cases is 0.44%; Since July 2022, the positive proportion of Omicron BA.5 has continued to rise, and it has gradually become the mainstream strain.
3. Dunmu Fleet (Panshi Ship) Gathering: Accumulated 36 cases of Panshi's crew.
4. Aircraft infection cluster: A total of 3 crew members have been diagnosed on the aircraft as infected cases.
5. Unknown: A total of 1 asymptomatic case was confirmed before leaving the country after a positive test at his own expense.
6. Under investigation: a total of 14 cases, all of whom were crew members of the same airline.

(Picture: deleted)

2. Influenza

(1) Domestic Epidemic

1. The number of flu-like outpatient and emergency visits has been on the rise recently, and it is higher than the same period in the past two years; In the past 4 weeks, the most positive samples of respiratory virus in the community were influenza virus (all were type A H3N2), followed by herpes simplex virus, In addition, the number of positive cases of influenza virus reported by the Laboratory Automatic Reporting System (LARS) increased, and the detection of influenza A was mainly, indicating that the activity of influenza virus in the

community increased; There have been no confirmed cases of severe influenza complicated by this flu season (starting in October 2021).

2. In view of the fact that the influenza epidemic in the southern hemisphere this year is higher than in recent years and has an early epidemic trend, and the world is gradually loosening control measures towards COVID-19 and there has been no influenza epidemic in Taiwan for two years, Influenza vaccination is encouraged in anticipation of a possible rise in seasonal influenza outbreaks in winter and co-epidemic with COVID-19.

(2) International Epidemic

(Picture: omitted)

3. Dengue Fever

(Picture: omitted)

4. Monkeypox

(Picture: omitted)

5. New Type of Influenza A Virus

WHO announced that 1 new case of H10N3 was reported in mainland China on 8/30, He is a 33-year-old male slaughterer in Dongyang City, Zhejiang Province. He became ill on 6/11, and was hospitalized with severe pneumonia on 6/15. He has recovered and had contact with poultry in the backyard. No related pathogens have been detected in his residence and workplace, and no close contacts have been infected.

This case is the second case of H10N3 in the world and in this country. Egypt and Australia have reported H10N7, and mainland China has reported H10N8. The virus comparison with the H10Nx outbreak in poultry is in progress. WHO has assessed that A(H10Nx) has not been able to sustain human-to-human transmission, and the possibility of human-to-human transmission is low. However, the virus continues to be found in poultry in various places, and it is expected that there will still be human sporadic cases.

..... 以下是中国語原文

中国：浙江报告一宗人类感染甲型禽流感（H10N3）个案

～臺灣內外疫情焦點 2022 年第 37-38 週 (2022/9/11-9/24)～

衛生福利部	www.mohw.gov.tw	2022-10-04	來源：疾病管制署
全球流感资讯网	www.flu.org.cn	2022-10-07 12:31	來源：香港特別行政區政府新聞公報
香港特別行政區政府新聞	www.chp.gov.hk	2022-10-05	來源：香港衛生防護中心

浙江省：于 2022 年 6 月 11 日发病的一名 33 岁男士。

..... 以下是从台湾卫生福利部 CDC 公开的论文上的记述

疫情概要：

全球 COVID-19 疫情趨緩，惟仍嚴峻，各國因檢測量縮減而可能低估病例數，Omicron 亞型變異株 BA.5 為全球主流株；隨北半球進入秋冬季節，國際傳播風險可能漸升高，全球旅遊疫情建議等級維持第三級警示 (Alert)。

國內 COVID-19 疫情呈廣泛社區流行且現處高原期，新增病例數及採檢陽性率持平，惟中重症病例數及死亡數上升，呼籲年長具慢性病史者之重症高風險族群接種疫苗，若出現警示徵兆者盡早就醫。自 9/29 起分兩階段鬆綁邊境檢疫及入境居家檢疫措施，請民眾於自主防疫期間仍需配合相關防疫指引。

國內近期類流感門急診就診人次呈上升趨勢，實驗室陽性檢體以 A 型流感為主，參考國際趨勢，預期冬季可能出現季節性流感疫情上升且與 COVID-19 共同流行，鼓勵民眾接種流感疫苗，新增 1 例登革熱本土病例與高雄市前鎮區群聚相關，請持續加強戶內外孳清、疑似症狀者儘速就醫。

中國大陸新增 1 例 H10N3 新型 A 型流感病例，預期仍會出現人類病例，惟人傳人風險低。

一、新型冠狀病毒肺炎 (COVID-19)

(一) 國際疫情

1. 全球疫情趨緩，截至 9/26 全球累計 611,715,965 例確診，分布於 201 個國家 / 地區，其中 6,532,668 例死亡(CFR: 1.1%)；近 7 日平均新增病例數依序以日本、美國、韓國、俄羅斯及我國為多。
2. 歐洲：整體趨勢持平。疫情自 9 月起回升後，近 1 週持平，俄羅斯處高峰，德國、法國、英國等多國上升。ECDC（歐盟疾控中心）表示多國新增病例、住院數及重症數回升，死亡數則維持下降趨勢；評估整體疫情仍處低點，暑假後人流移動可能是造成傳播增加的主因。
3. 西太平洋：整體趨勢趨緩。日本、韓國過高峰趨緩，仍嚴峻，新加坡緩升，澳洲、菲律賓持平，香港、越南、馬來西亞、紐西蘭持平或趨緩；中國大陸本土疫情持續，部分省市社區傳播風險仍高；寧夏疫情上升，呈多點散發，基因定序顯示存在 BA.5.2 及 BA.2.76 兩種病毒株，感染源仍不明，具社區傳播風險。
4. 美洲：整體趨勢持平。美國、加拿大持平，加勒比地區、中南美洲均趨緩；美國 BA.5 變異株佔比略降為 83.1%，近期 BA.2.75 及 BF.7 變異株佔比上升。
5. 東南亞：整體趨勢趨緩。印度、印尼、泰國趨緩，孟加拉、緬甸回升，仍處相對低點。
6. 東地中海：疫情持平，近期新增病例以卡達、伊朗為多。
7. 非洲：疫情趨緩，新增病例以南非、模里西斯為多。
8. 目前全球旅遊疫情建議均為第三級警告(Warning)，國人應避免所有非必要之出國旅遊。

(二) 國內疫情

全國目前為 COVID-19 廣泛社區流行，新增病例數及採檢陽性率呈持平；自 2020 年迄 2022 年 9/26，新型冠狀病毒相關通報累計 17,673,340 例，其中 6,324,578 例為確定病例，分別為 6,290,257 例本土病例、34,267 例境外移入、36 例敦睦艦隊、3 例航空器感染、1 例不明及 14 例調查中；確診病例中 10,912 例死亡。

1. 境外移入病例：新增 3,150 例，病例數持平，本國籍佔多數，檢出以 Omicron 變異株為主；2022 年起累計檢出 Omicron 2,464 株，其中 170 株 BA.2.12.1 亞型，旅遊國家以美國（136 株）為多；另檢出 91 株 BA.4（以美國 29 例、英國 9 例、新加坡及荷蘭各 6 例為多，另 25 個國家介於 1-4 例）、914 株 BA.5（以美國 163 例、越南 98 例、德國 59 例為多，餘 54 個國家介於 1-49 例）、27 株 BA.2.75（印度 15 例為多，餘 6 個國家介於 1-4 例）、1 例 BA.2.12.1/BA.5（巴西）。
2. 本土病例：新增 567,013 例，病例數上升，個案居住縣市前 3 名為新北市、台中市及台北市，近期新增病例數呈持平趨勢，本土中重症病例比例為 0.44%；自 2022 年 7 月起 Omicron BA.5 陽性佔比持續上升，逐漸成為主流株。
3. 敦睦艦隊（磐石艦）群聚：累計 36 例磐石艦人員。
4. 航空器感染群聚：累計 3 例機組員，研判在飛機上受已發病個案感染。
5. 不明：累計 1 例無症狀個案，離境前自費採檢陽性後通報確診。
6. 調查中：累計 14 例，皆為同一航空公司機組員。

(圖：省略)

二、流感

(一) 國內疫情

1. 近期類流感門急診就診人次呈上升趨勢，且高於近兩年同期；近 4 週社區呼吸道病毒陽性檢體以流感病毒為多（均為 A 型 H3N2），其次為單純疱疹病毒，另自實驗室傳染病自動通報系統(LARS)通報流感病毒陽性件數上升，檢出亦以 A 型流感為主，顯示社區流感病毒活動度增加；本（2021 年 10 月起）流感季尚無流感併發重症確定病例。
2. 鑑於南半球今年流感疫情高於近幾年且有提前流行趨勢，另全球朝 COVID-19 逐漸鬆綁管制措施及國內已二年無流感流行，預期冬季可能出現季節性流感疫情上升且與 COVID-19 共同流行，鼓勵流感疫苗接種。

(二) 國際疫情

(圖：省略)

三、登革熱

(省略)

四、猴痘 (省略)

五、新型 A 型流感

1. WHO 公布中國大陸 8/30 新增報告 1 例 H10N3 病例，為浙江省東陽市 33 歲男性屠宰業者，6/11 發病，6/15 嚴重肺炎住院，現已康復，曾接觸後院家禽，住所及工作場所無相關病原檢出，密切接觸者無人感染。
2. 此案為全球及該國第 2 例 H10N3，埃及、澳洲曾報告 H10N7，中國大陸曾報告 H10N8，與禽類 H10Nx 疫情之病毒比對已在進行中，WHO 評估 A(H10Nx)未獲持續人際傳播能力，人傳人可能性低，惟病毒持續於各地禽類中發現，預期仍會有人類散發病例。

20221004H 中国：H10N3 鳥インフル 浙江省で 1 人(衛生福利部)